歌 高橋

Ш

君 君

作 作 詇 Ш

直 \Box .駿 樹

酒注ぎ交わし乾した夜の 折ぉ まえは れたポ 何を言わんとす プラよ

見上げた月の傍らで おまえの匂いが映らない

たとえこの世が変わ 永久に変わらず継いでやるとゎ れども

の継ぎ目が終わ れども

心配せなや友達よ

俺や寮友らが歌うだろう ***

お前は此処に生きている 心配せなや友達よ

> 折ぉ おまえは何を言わんとす れたポ が踊る夏の日も プラ Ĵ

肩を組もうぞ友達よかた 同じ生命を共にした 茜ねね に溶ける秋の日 も

側は 俺とお前は同じ土 まれ まな っち なくともその根が

思うは日々のいたずらか

肩を組もうぞ友達よかた その身朽ちゆく運命ども 歌声や思いを繋ぐだろう

次代がお前を芽吹くだろう

折ぉ れ たポ プラよ

供に称え 春の色する 固^か別^か め れ 歩^あの おまえは の雪を踏み ん ん友達よ だ辿り る夢なれや 何 を言わ の未来 しめ んとす 7

供^とも に 見つめる春は違えども 尽きぬ涙は言足りず 過ごせる時間の限れるにすが、 た称えん友達よ

六華が我等照らすかな りっか われら て